

2021年度 パラカヌー海外派遣選手選考方針

2020年9月9日

一般社団法人日本障害者カヌー協会

1 2021年度海外派遣選手の上限枠

クラス	男子K	女子K	男子V	女子V
L1	2名	2名	2名	2名
L2	2名	2名	2名	2名
L3	2名	2名	2名	2名

※ワールドカップ及び世界選手権の出場枠が1か国1名に変更される場合は上限枠を変更する。

※国ごとの出場枠が設けられていない大会などに派遣することになった場合については別途選考要領を発表することがある。

2 2021年度海外派遣大会(予定)

- ① 5月12日～16日 パラカヌーワールドカップ(パラリンピック最終予選) ハンガリー
- ② 9月15日～19日 パラカヌー世界選手権 デンマーク

3 2021年度海外派遣選手選考手順

- ① 2020年9月9日～9月13日(パラカヌーは11日～13日)開催の日本選手権大会(石川 木場潟カヌー競技場)、および2021年3月末に開催予定の府中湖カヌーレガッタ(香川 府中湖カヌー競技場)を選考レースとする。
 - ・ 2大会への参加は必須とはしないが、2大会に出場した選手については良い方のタイムを採用する。
 - ・ いずれかの大会において4の基準タイムを上回った選手を候補選手とする。
 - ・ 各カテゴリーで2名以上の選手が候補となった場合には、当該選手が同じレースに出場した際の着順などを参照し、日本障害者カヌー協会理事会で決定し、日本カヌー連盟選考委員会で承認する。
- ② 2019年度の世界選手権において予選からA決勝に進出した選手は、当該クラスにおいて最上位で候補選手となる権利を有する。ただし、2019年度の世界選手権での記録が基準タイムに達していなければならない。
- ③ 基準タイムに達しないカテゴリーについては、当該カテゴリーにおいてトップの記録を出した者を候補とする。

4 基準タイム

カヤック・ヴァーともに 2019 年の世界選手権の優勝タイムを基準として作成された換算タイム表(2020年度の選考指針と同じ)の15%の欄及び 25%の欄を基準タイムとする。

5 強化選手

- ① 2021年海外派遣選手を強化選手とする。
- ② 1 基準タイムのうち 15%以内の選手については全額補助を基本として強化事業を行う。
2 16%以上から25%までの選手については 2021年度の補助額によって2021年度に決定する割合で個人負担をしたうえで強化事業を行う。
3 3-③によって強化選手となった者が強化事業に参加する際は個人負担での参加を基本とする。

6 海外派遣での出場種目について

1 で示した上限枠に満たない種目については、希望によりカヤックで選考された選手がヴァーに、ヴァーで選考された選手がカヤックに出場することができる。

7 派遣大会でのクラス分けによりクラス変更があった場合の対応

- ・ 派遣された国際大会で受けたクラス分けにおいて、クラスの変更を求められた選手は国際カヌー連盟からの指示通りのクラスで大会に出場することとなる。
- ・ 国際大会でのクラス変更により出場クラスが変わった選手については 5 で決められた強化選手の区分を年度途中で変更しないこととする。ただし、NEの場合はこの限りではない。
- ・ 国際大会でのクラス変更により年度内に開催される次大会以降において空席ができた種目については、次点の選手を繰り上げる。

8 東京パラリンピックの出場権獲得選手について

パラカヌースプリント パラリンピック日本代表選手選考指針参照

以上